



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 株式会社 ケアネット 上場取引所 東  
 コード番号 2150 URL http://www.carenet.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 勝博  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 深澤 郁 TEL 03-5214-5800  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	3,185	48.4	1,036	159.8	1,034	166.2	565	128.2
2019年12月期第3四半期	2,146	4.7	398	26.1	388	33.2	248	37.8

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 812百万円 (720.5%) 2019年12月期第3四半期 99百万円 (△53.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	54.50	—
2019年12月期第3四半期	23.36	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	5,001	2,910	57.9	279.16
2019年12月期	3,079	2,155	69.8	207.19

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 2,898百万円 2019年12月期 2,150百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	53.0	1,300	114.6	1,300	119.1	600	33.9	57.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	11,048,000株	2019年12月期	11,048,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	666,292株	2019年12月期	666,247株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	10,381,744株	2019年12月期3Q	10,617,959株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により急速な悪化が続いており、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国を始めアジア新興国等の経済動向、金融資本市場の変動に加え、米中貿易摩擦や米国政策運営の不透明感の継続など、世界経済の不確実性は高く、国内外の先行き景気には留意する必要があります。

当社グループの主要顧客が属する製薬業界においては、大型薬剤の特許切れや薬価制度の変更、ジェネリック医薬品の使用促進などに直面し、製薬企業の営業環境は、厳しい状況が続いております。そのため、製薬企業は、新薬の研究開発や営業・適正普及活動において、さらなる生産性向上を求めています。また上市される新薬の中心が、スペシャリティ医薬品になるなかで、製薬企業はスペシャリティ医薬品に合った新たな適正普及支援を必要としております。

なお、当社グループでは、長期化する新型コロナウイルス感染症対策として、リモートワークを実施し、顧客との商談、セミナー等についてもオンラインで実施いたしました。また、製薬企業はMRの医療機関への訪問自粛が続いている背景から、医薬営業支援サービスの各既存サービスのニーズが高まり、受注が増加する要因となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高3,185百万円（前年同四半期比48.4%増）、売上総利益2,228百万円（前年同四半期比56.1%増）、営業利益1,036百万円（前年同四半期比159.8%増）、経常利益1,034百万円（前年同四半期比166.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益565百万円（前年同四半期比128.2%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

## ① 医薬営業支援サービス

当サービスにおいては、既存サービスの販売体制強化及び販売管理費のコスト削減や効率化等の諸施策などの取り組みを進めるなか、医薬営業支援サービスの売上高は2,820百万円（前年同四半期比51.7%増）、営業利益は1,551百万円（前年同四半期比66.3%増）となりました。

## ② 医療コンテンツサービス

当サービスにおいては、医師向け教育コンテンツ「ケアネットDVD」及び「その他」の売上高は151百万円（前年同四半期比48.2%増）、医療教育動画サービス「CareNetTV」の売上高は214百万円（前年同四半期比15.4%増）となりました。

この結果、医療コンテンツサービスの売上高は365百万円（前年同四半期比27.1%増）、営業利益は84百万円（前年同四半期比40.3%増）となりました。

また、医師・医療従事者向け医療専門サイト「ケアネット・ドットコム（CareNet.com）」においては、医師会員獲得及び維持を目的に、前期に引き続き積極的に投資を行っております。これにより、当第3四半期連結会計期間末の医師会員数は17万2千人（前年同四半期比13.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,922百万円増加の5,001百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,519百万円増加の3,995百万円となりました。これは主に、現金及び預金1,345百万円、受取手形及び売掛金217百万円の増加によるものであります。

また、固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ402百万円増加の1,006百万円となりました。これは主に、のれん85百万円、投資その他の資産262百万円の増加によるものであります。

## ② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,167百万円増加の2,091百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,157百万円増加の2,066百万円となりました。これは主に、短期借入金1,000百万円、未払法人税等236百万円、ポイント引当金88百万円の増加、役員賞与引当金97百万円の減少によるものであります。

また、固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ10百万円増加の24百万円となりました。

## ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ754百万円増加の2,910百万円となりました。これは主に、利益剰余金503百万円、その他有価証券評価差額金242百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による製薬企業のDX化推進に伴うリモートワーク拡大等を背景に、各既存サービスの受注が増加した結果、2020年2月13日に公表いたしました通期連結業績予想から上方修正しております。詳細は2020年11月12日公表の「2020年12月期 通期業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,433,080	2,778,117
受取手形及び売掛金	853,741	1,070,948
たな卸資産	30,088	40,709
前払費用	40,766	40,038
その他	118,426	65,987
流動資産合計	2,476,103	3,995,801
固定資産		
有形固定資産	17,184	33,418
無形固定資産		
のれん	—	85,497
その他	55,550	94,097
無形固定資産合計	55,550	179,594
投資その他の資産	531,056	793,168
固定資産合計	603,791	1,006,182
資産合計	3,079,895	5,001,983
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	47,394	42,107
短期借入金	—	1,000,000
未払法人税等	82,274	319,081
前受金	3,145	18,419
役員賞与引当金	97,030	—
ポイント引当金	354,429	442,827
その他	325,656	244,502
流動負債合計	909,930	2,066,938
固定負債		
長期借入金	—	10,000
資産除去債務	14,393	14,564
固定負債合計	14,393	24,564
負債合計	924,324	2,091,503
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	627,045	627,045
資本剰余金	551,182	551,260
利益剰余金	1,456,911	1,960,467
自己株式	△450,956	△451,038
株主資本合計	2,184,183	2,687,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△29,470	213,166
為替換算調整勘定	△3,747	△2,696
その他の包括利益累計額合計	△33,217	210,469
非支配株主持分	4,604	12,274
純資産合計	2,155,570	2,910,479
負債純資産合計	3,079,895	5,001,983

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	2,146,763	3,185,786
売上原価	719,197	957,036
売上総利益	1,427,566	2,228,749
販売費及び一般管理費	1,028,577	1,192,342
営業利益	398,989	1,036,406
営業外収益		
受取利息	500	421
受取配当金	3,013	4,997
受取手数料	1,359	1,631
保険配当金	1,968	1,650
雑収入	385	599
営業外収益合計	7,227	9,300
営業外費用		
支払利息	799	3,681
為替差損	3,737	4,534
貸倒引当金繰入額	11,381	2,910
雑損失	1,737	163
営業外費用合計	17,657	11,290
経常利益	388,559	1,034,416
特別損失		
投資有価証券評価損	—	120,600
特別損失合計	—	120,600
税金等調整前四半期純利益	388,559	913,816
法人税、住民税及び事業税	130,134	376,334
法人税等調整額	10,500	△31,383
法人税等合計	140,635	344,950
四半期純利益	247,924	568,866
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△85	3,019
親会社株主に帰属する四半期純利益	248,009	565,846

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）
四半期純利益	247,924	568,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△149,700	242,636
為替換算調整勘定	813	1,050
その他の包括利益合計	△148,886	243,687
四半期包括利益	99,037	812,553
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,122	809,533
非支配株主に係る四半期包括利益	△85	3,019



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬営業 支援サー ビス	医療コン テンツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	1,858,976	287,787	2,146,763	—	2,146,763
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,858,976	287,787	2,146,763	—	2,146,763
セグメント利益	932,625	60,506	993,131	△594,142	398,989

(注) 1. セグメント利益の調整額△594,142千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費）であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬営業 支援サー ビス	医療コン テンツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	2,820,032	365,753	3,185,786	—	3,185,786
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,820,032	365,753	3,185,786	—	3,185,786
セグメント利益	1,551,413	84,875	1,636,289	△599,882	1,036,406

(注) 1. セグメント利益の調整額△599,882千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費）であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬営業支援サービス」セグメントにおいて、株式会社フェーズワンから「がん@魅せ技」事業の譲受を実施いたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては85,497千円であります。

## （重要な後発事象）

## 子会社の設立

## （株式会社ケアネットインテリジェンス）

当社は、2020年9月15日開催の取締役会において、以下のとおり子会社を設立することを決議し、2020年10月1日付で子会社を設立いたしました。

## （1）設立の目的

製薬企業の医薬情報提供活動の支援サービスを展開するなかで、近年、製薬業界の市場成長の鈍化や技術進歩による専門性の細分化など、製薬企業を取り巻く環境は大きく変化しています。設立子会社は、当社と役割を補完し合うことで、医療・ヘルスケア関連全般の調査・研究業務を専門的に実施する目的として設立いたしました。

## （2）設立する子会社の概要

① 名称	株式会社ケアネットインテリジェンス
② 所在地	東京都千代田区
③ 事業の内容	医療・ヘルスケア関連全般の調査・研究業務
④ 資本金	20,000千円
⑤ 設立の時期	2020年10月1日
⑥ 取得する株式の数	500株
⑦ 取得価額	20,000千円
⑧ 出資比率	当社100%

## （株式会社ヘルスデータサイエンス）

当社は、2020年10月20日開催の取締役会において、以下のとおり子会社を設立することを決議し、2020年11月2日付で子会社を設立いたしました。

## （1）設立の目的

当社は、デジタルヘルス時代の到来を見据え、パーソナライズされた健康管理を支援するサービスを開発・提供することを目的に子会社を設立いたしました。設立子会社は、大学や自治体、保険者、医療機関等と協力し、健診・診療・介護等のデータを分析し、企業職域や個人の健康管理のみならず、効率的な診療や地域ケアの推進に貢献する事業を行います。

## （2）設立する子会社の概要

① 名称	株式会社ヘルスデータサイエンス
② 所在地	福岡県北九州市若松区
③ 事業の内容	検診、診療等データの分析サービス
④ 資本金	10,000千円
⑤ 設立の時期	2020年11月2日
⑥ 取得する株式の数	200株
⑦ 取得価額	10,000千円
⑧ 出資比率	当社100%